

2009 年（平成 21 年）6 月 16 日

「第 2 回マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募」 助成テーマ決定

株式会社マンダム（本社：大阪市、社長執行役員：西村元延 以下マンダム）は、動物愛護の考えのもと、動物実験代替法の開発に取り組んでおります。その研究の一環として、2007 年度より日本動物実験代替法学会の全面的なご協力のもと「マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募」を行っております。第 2 回目の募集となる今回は、厳正な審査の結果、3 件の研究テーマが助成交付に決定いたしました。各研究テーマに対しましては、2009 年 4 月より研究助成を開始しております。

【動物実験代替法が開発される背景】

近年世界各国で動物愛護運動が高まってきています。それに伴い、欧州連合（EU）では、2004 年から化粧品の最終製品に対して、また 2009 年 3 月からは化粧品の原料に対しても、動物実験が禁止になりました。2013 年には、動物実験を行った原料を含む化粧品の製品すべてが販売できなくなる予定です。

日本でも、3Rs（Replacement：動物実験の置き換え、Reduction：動物使用数の削減、Refinement：実験時の動物への苦痛の軽減）の概念に則って、動物実験の見直しが動物愛護の観点から社会的に重要視される傾向があり、動物実験代替法の開発が活発になってきました。

一方、化粧品の安全性は、様々な方法で確認する必要があります。マンダムでは、現在可能な限り動物を使用しない方法にて評価を行っていますが、今後さらなる安全性確保のためには、より進んだ動物実験代替法の開発が急務となっています。

現在 3Rs の中でも、「Replacement」に着目し、動物実験代替法の開発に取り組んでいますが、その一環として、動物実験代替法研究への公募による助成を行っております。

【動物実験代替法マンダム国際研究助成金公募】

動物実験代替法に関する研究を進めるために、「動物実験代替法マンダム国際研究助成金公募」を行い、以下の条件にて、アジアを中心とした世界中から動物実験代替法に関する研究テーマを募りました。

本助成金の目的は、動物実験代替法における研究を広く奨励し、代替法分野における研究の活性化を図ることにあります。代替法分野の研究が活性化することによって、社会に貢献することが可能であると考えております。

・募集要項

①テーマ	動物実験代替法に関する研究		
②助成内容	1件あたり50万円～200万円、総額500万円/年間		
③スケジュール	2008年	10月1日(水)	募集開始
	2009年	1月31日(土)	募集締切
	2009年	2月初旬～	選考開始
		3月初旬～	助成対象者発表
	4月1日(水)	助成開始(1年間)	

【助成対象テーマ】

「第2回マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募」は、2009年1月31日で締め切らせていただきました。今回も多数の応募をいただきました。厳正な審査の結果、今回の研究助成交付は以下のよう

研究助成交付者(所属) 敬称略	研究課題
小森 喜久夫 (東京大学 生産技術研究所)	<i>In vitro</i> 毒性試験系に有用な最小細胞集団の構築と機能評価
大戸 茂弘 (九州大学 臨床薬学講座)	<i>In vitro</i> 細胞培養における時間薬物動態学評価システムの構築 serum-shocked HepG2 における cyp の時間的発現の分子生物学的研究
前田 和哉 (東京大学大学院 薬学系研究科)	ヒト肝臓組織サンプルと遺伝子発現細胞を併用した肝臓での薬物の解毒能力 および薬物間相互作用の定量的予測法の開発 ～動物実験の代替法としての ヒト組織の活用～

なお、「第3回マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募」につきましても、現在実施を検討中です。詳細が決定いたしましたら、再度ご案内させていただきます。

以上

この件についてのお問合せ先

株式会社マンダム 広報IR室 村上 (TEL:06-6767-5020)